



▲ (中学校学級弁論)

「私たちの代でなくします」 (小・中学校人権学習の取り組み)

「人権学習に取り組んで」私は、私たち6年生だけでなく、周りの大人の人も一緒に人権学習をしていることをうれしく思いました。大人が差別をなくさなければ、なくならないから、私たちが大人になった時もこの人権学習を忘れないようにしようと思えました。そして、私たちの代で差別をなくしたいと思います。」名和小学校の人権学習で、6年生の一人が述べた言葉です。

町内の小学校、中学校では、それぞれ工夫された内容で人権学習が実践されています。そこで学ぶ子どもたちは、真剣に学習に取り組んでいます。

小学校では

町内のそれぞれの小学校では、1年生から6年生まで年間指導計画に基づいて「人々として大切にすることを学習」を進めています。

とりわけ6年生は部落差別を中心に学びながら、一人ひとりが大切にされる社会をめざし、自分ができることは何かを考えながら学習を深めています。また、たくさんのゲストティーチャーの方から話を聞き『人としての生き方』を学び、自分自身を振り返り、自らが行動することの大切さに気づいています。

そして、人権学習を通して自分たちが調べたり考えたりしたことをもとに発表会を開き、友達や保護者の方などに自分の思いをしっかりと伝えています。

中学校では

町内の3つの中学校では、教科、道徳などでの学習はもちろんですが、学級弁論や人権に視点をあてた学年劇、また人権劇を通して人権学習を



▲ (小学校グループ発表)

進めています。身近な生活の中に起こる人権侵害をそのままにせず、一人ひとりの人権を大切にしていこうと学習に取り組んでいます。

人権劇に真剣に取り組む仲間の姿から自分自身を振り返り、身近な現実にも目を向け、差別や不合理などの人権課題を見抜き、ともに解決していこうとする子どもたちが育っています。また、学級弁論で語る仲間の思いに学びながら、お互いの人権意識を高めたり、つながり合うことの大切さを感じたりしています。自分自身をしっかりと振り返り、自分自身の差別心に改めて気づき、同和問題を中心に



した「人権学習」を続けていくことの大切さをしっかりと自覚して、仲間と共に問題を解決していこうとしています。

私たち大人は人生の先輩として、家族として、人間として、人権を尊重しあうよりよい生き方を示していかなければならないと思います。

みんなの人権セミナー

2月18日(金) 19時30分～21時

中山農村環境改善センター

「みんながしあわせになるために

～私が歩んでいる中から～

(講演) 池谷 由美さん